

第 5 付属資料

林業労働実態調査票

事業体ID
※振興局記入欄

名称又は会社名等				担当者 役職・ ご芳名	
住 所	〒		－		
	電話			FAX	
Eメール	※本調査に関する照会のほか、北海道からの各種情報提供や調査の依頼等に使用させていただきます場合があります。				

1 調査の目的

本調査は、国や道の統計資料として、また、担い手確保などの対策に役立てることを目的としています。

個別事業体ごとの回答を公表することはありませんので、ありのままの実態を記入してください。（回答の具体的な活用先については、別紙「林業労働実態調査へのご回答をお願いします」をご覧ください。）

なお、直近では9割以上の事業体の皆様にご回答いただいております。今回の調査へもご協力をお願いします。

2 調査対象

調査対象は、素材生産（伐採・搬出等）、造林（地拵・植付・下刈・除伐等）、種苗生産（山行苗木）の現場作業に従事する方を雇用して事業を行っている事業体（個人事業主・一人親方を含む。）です。

※土木工事など林業以外を主たる事業としている事業者の方も、上記の現場作業に従事した方がいれば、調査対象になります。

※貴事業体の従事者が実施した事業が対象ですので、下請として受けた分は対象ですが、下請に出した分は対象外です。

※調査の単位は、事業者が支社、出張所等の出先機関を設置している場合は、その出先機関等とします。出先機関等が所在する地域の（総合）振興局へ提出してください。ただし、雇用の管理、事業の実施・事業量の把握等を本社で一括管理している場合は、本社で出先分を含めて記入してください。

※森林組合については、本所を調査単位としますので、支所等の分を含めて記入してください。

3 調査対象期間

令和5年度（令和5年（2023年）4月1日～令和6年（2024年）3月31日）の1年間

4 その他

調査票は、本票及び別紙「個別就労状況票」の2種類です。

該当する項目にチェック（✓）し、数字を選択・記入する等、もれなくご回答ください。

ご不明の点などございましたら、最寄りの（総合）振興局の林務課林務係にお問い合わせください。

〔問1〕 経営形態を教えてください。(1つにチェック ✓)

- 1:会社 2:協同組合等 3:森林組合
 4:個人事業主 5:一人親方 6:その他(NPOなど)

※ 「1 会社」は、会社法に基づく株式会社(有限会社含む)、合名会社、合資会社、合同会社
 ※ 「2 協同組合等」は、中小企業等協同組合法に基づく中小企業等協同組合や、一般社団法人、一般財団法人など
 ※ 「3 森林組合」は、森林組合法に基づく森林組合
 ※ 「4 個人事業主」は、法人格を持たない事業体
 ※ 「5 一人親方」は、雇用されることなく、かつ、作業員を雇用していない事業主

〔問2〕 林業以外で実施した事業はありますか。ある場合、それは何ですか。(1、2どちらか1つにチェック ✓)

- 1:ある 2:ない(林業のみ)
- ↓
- ア:土木・建設業 イ:木材・木製品製造業 ウ:その他 ()

〔問3〕 令和5年度に実施した事業にチェック✓し、その事業量及び従事者の1日あたり平均賃金を記入してください。

区分	実施事業 (実施した 事業に✓)	事業量			労働者の1日あたり平均賃金			
					通年雇用	定期雇用	臨時雇用	
素材生産		生産量	主伐(a) m ³	搬出間伐(b) m ³	生産量計(a+b) 0 m ³	円	円	円
		人工数	主伐人工数(c) 人	搬出間伐人工数(d) 人	年間就労日数(c+d) 0 人			
造林 (植付、 下刈、 その他)		植付	ha	/	/	円	円	円
		下刈	ha					
		その他(除伐等)	ha					
種苗 (山行苗木)		苗木生産量	万本	/	/	円	円	円
		うちコンテナ苗	万本					

※ 従事者を雇用(又は自らが実施)して実施した事業について記入してください。 素材を購入した分や下請けに出した分は含みません。
 ※ 通年雇用:年間を通じて雇用される者
 ※ 定期雇用:雇用保険の被保険者期間が通算して6か月以上1年未満の雇用の者
 ※ 臨時雇用:通年、定期以外で一時的に雇用される者
 ※ 月給制の場合の平均賃金は次式により算出した額とします。

$$\left[\frac{\text{給料月額} \times 12 \text{ヶ月}}{1 \text{週あたりの労働時間} \times 52 \text{週}} \times 1 \text{日あたりの労働時間} \right]$$
 ※ 素材生産の年間就労日数(c+d)は、「別紙 個別就労状況票」の素材生産の就労日数の合計と一致するように記入してください。

〔問4〕 令和5年度に実施した事業の実施場所について、実施面積を基におおむねの割合を記入してください。

- (「種苗」のみ実施している場合は記入不要)
- 1:国有林 ()% 2:道有林 ()% 3:一般民有林 ()%
 ※1~3の合計が100%になるように記入してください

〔問5〕 従事者の定休日について教えてください。(該当する1つにチェック ✓)

- 1:完全週休2日制 2:変形週休2日制(月の休みが5~7日)
 3:週休1日制 4:不定期

次ページへ
➡

〔問6〕 定期雇用者又は臨時雇用者の通年雇用化の実施状況について教えてください。

(1) 通年雇用化に向けた取組状況(該当する1つにチェック ✓) (※雇用者のうち全員が通年雇用の場合は「1:取り組んでいる」に✓)

- 1:取り組んでいる →問6(2)へ
 2:今後進めたい →問6(3)へ
 3:取り組んでいない →問6(3)へ

(2)通年雇用化のため取り組んでいる内容について教えてください。(当てはまるものすべてにチェック ✓)

- 1:林業分野の事業確保→(①:素材生産 ②:造林 ③:種苗)
 2:冬季の除雪業務
 3:建設・土木業務
 4:製材など木材・木製品製造業
 5:農業
 6:その他取り組んでいる内容()

→問6(3)へ

(3)通年雇用化の支障となっている原因について教えてください。(当てはまるものすべてにチェック ✓)

- 1:通年で事業が確保できない
 2:従事者が通年で作業する技術がない(造林作業に従事する方で冬季の造材技術がない等)
 3:従事者が通年雇用を望んでいない(農業と兼業するため等)
 4:その他 ()
 5:通年雇用化は必要ない 理由()

〔問7〕 令和3・4年度に新規で就業した方(同業他社からの就業者を含む)の定着状況(人数)を記入してください。

区 分	令和3年度	令和4年度
令和3年度・4年度の新規就業者数	人	人
上記のうち、令和6年3月31日時点で就業中の人数	人	人

- ※ 臨時雇用者は含みません。
 ※ 定期雇用者を毎年継続して雇用する場合は、最初の雇用のみを「新規就業者」としてカウントしてください。
 ※ 定期雇用者で、調査時点では離職しているが、翌年度も引き続き雇用する予定の場合は、「就業中」としてください。

〔問8〕 令和5年度の林業従事者の充足状況について教えてください。

(1) 当てはまる充足状況を選択の上、該当する実施事業①～③にチェック✓してください。

- [充足状況] 実施事業([問3]で選択)
 1:不足 → (①:素材生産 ②:造林 ③:種苗) → 問8(2)へ
 2:足りていた → (①:素材生産 ②:造林 ③:種苗) → 問9へ

(2) (1)で「1:不足」と回答した場合、不足した原因(当てはまるものすべてにチェック ✓)

- 1:事業量が増えた
 2:退職者があった
 3:求人したが採用に至らなかった
 4:作業効率が上がらなかった
 5:その他 ()

〔問9〕 令和5年度の新規就業者の採用活動について主なものに(4つまで)チェック✓してください。

- 1:ハローワークへの求人
 2:イベント等でPR・募集
 3:学校への求人
 4:求人サイト・雑誌等の求人広告
 5:自社ホームページでのPR・募集
 6:SNSによる自社のPR・募集
 7:縁故者からの紹介
 8:退職自衛官への求人
 9:その他()
 10:採用活動を行わなかった

次ページへ



〔問10〕今後5年程度の貴事業体の林業従事者の充足状況の見通しと採用したい人材について教えてください。

(1) 当てはまる充足状況の見通しを選択の上、該当する実施事業①～③にチェック✓してください。

[充足状況の見通し] 実施事業(〔問3〕で選択)

1:不足 → (①:素材生産 ②:造林 ③:種苗)

2:足りている → (①:素材生産 ②:造林 ③:種苗)

(2) 今後5年程度で採用したい人材の条件 (当てはまるものすべてにチェック ✓)

(経歴等) 1:新卒者(林業関係 高校) 2:新卒者(林業関係 短大・大学)

3:新卒者(林業関係の専門学校 (北の森づくり専門学院 等))

4:新卒者(林業関係以外) 5:社会人(林業経験あり)

6:社会人(林業経験なし) 7:不問

(年齢) 1:20歳未満 2:20代 3:30代 4:40代 5:50代 6:60代 7:不問

〔問11〕林業従事者の定着についてお伺いします。

(1) 林業労働者の定着に向けて必要と思うもの、取り組んでいることについて教えてください。(当てはまるものすべてにチェック ✓)

	必要とを感じるが 取り組めていないもの	既に取り組んでいるもの
ア 賃金、給与等の改善	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ 休日・労働時間の改善	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ 休暇取得の促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ 研修等、教育体制の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ 能力評価の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ 福利厚生 of 充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ 軽労化の促進(機械化等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ク 労働災害の防止対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ケ 職場内のミーティングの実施等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コ その他必要と思うもの	[<input type="checkbox"/>]	

(2) 定着に向け必要な取組を進める上での課題についてご記入ください。(自由記述)

〔問12〕 通年雇用者及び定期雇用者の保険等の加入状況について、人数を記入してください。(臨時雇用を除く)

(1) 労災保険 加入 人 未加入 人
※人数の合計は、「個別就労状況票」の通年雇用者及び定期雇用者の合計人数に一致するように記入してください

(2) 雇用保険 加入 人 未加入 人
※人数の合計は、「個別就労状況票」の通年雇用者及び定期雇用者の合計人数に一致するように記入してください

(3) 医療保険 国民健康保険(国保) 人 社会保険(社保) 人 後期高齢者医療制度(75歳以上の従事者) 人
※人数の合計は、「個別就労状況票」の通年雇用者及び定期雇用者の合計人数に一致するように記入してください

(4) 年金 国民年金 人 厚生年金 人
※国民年金は、60歳未満の雇用者を対象として記入してください
※厚生年金は、70歳未満の雇用者を対象として記入してください

次ページへ



〔問13〕 リスクアセスメントを導入していますか(1つにチェック ✓)

1:導入している

2:導入を検討

3:導入の予定なし

4:取組を知らない

〔問14〕 次の装備等を使用・携帯させていますか。(該当するもの全てにチェック✓)

(1) 労働安全に関する装備等

(※該当業務がない場合は回答不要です)

ア イヤーマフ	<input type="checkbox"/>
イ フェイスガード	<input type="checkbox"/>
ウ 安全ベスト	<input type="checkbox"/>
エ 防振手袋	<input type="checkbox"/>
オ 安全靴	<input type="checkbox"/>
カ 防蜂網	<input type="checkbox"/>
キ 刈払機防護具(すね当て)	<input type="checkbox"/>
ク 刈払機使用時の腰バンド	<input type="checkbox"/>
ケ アナフィラキシー補助治療剤(エピペン)	<input type="checkbox"/>
コ クマ撃退スプレー	<input type="checkbox"/>
サ 作業位置や健康状態を把握できるICT機器	<input type="checkbox"/>
シ その他の使用装備	(<input type="text"/>)

(2) 就業環境の改善、軽労化に関する装備等

ス アシストスーツ	<input type="checkbox"/>
セ 空調服	<input type="checkbox"/>
ソ ドローン(森林調査、苗木運搬等)	<input type="checkbox"/>
タ 造林作業用の機械(リモコン式草刈り機等)	<input type="checkbox"/>
チ その他の使用装備	(<input type="text"/>)

〔問15〕 林業労働力の育成確保に関する現状や課題、林業施策へのご意見等ございましたらご記入ください。

「本調査票」及び「別紙 個別就労状況票」のご提出をお願いします。
ご協力ありがとうございました。

別紙 個別就労状況票

事業体ID 名称又は会社名等

令和5年度の1年間に林業の現場作業に従事したすべての方について記入してください。①、⑤、⑩の調査時点は、令和6年3月31日です。
 事業主(一人親方も含む)も現場作業に従事した場合は、事業主も含めて記入してください。
 ※年度内に同じ従事者を複数回雇用した場合は、対象の従事者を1名として記載してください。

定期雇用者は、雇用保険の被保険者期間が通算して6か月以上1年未満の雇用の者です。

調査年度に新規採用された方で林業経験がない場合は、林業経験年数「1」と記入してください。

複数の事業に従事している場合は、概ねで結構ですので、該当する事業の就労日数を記入してください。日数がゼロの場合は空白としてください。

定期雇用者で、調査時点では継続しているが、令和6年度も引き続き雇用する予定の場合は、「1:就業中」としてください。

定期雇用者で、前年度に引き続き雇用された人は、令和5年度の新規採用者を含みません。同業他社からの就業者は含みます。

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
	年齢	性別	雇用形態	賃金形態	林業経験年数	左のうち林業に就労した日数(0日の場合は記載不要)		種苗	その他就労日数	退職金	現在の状況	林業経験	緑の研修生	前居住地	Uターン	職歴
		1:男 2:女	1:通年雇用 2:定期雇用 3:臨時雇用	1:月給制・日給制 2:日給制・月給制 3:出来高制 4:日給出来高併用 5:月給出来高併用	林業経験年数	素材生産 (日数を記入)	造林 (日数を記入)	種苗 (日数を記入)	林業以外の就労日数(日数を記入)	1:中退共 2:林退共 3:建退共 4:独自 5:なし	1:就業中 2:退職	1:あり 2:なし	1:令和5年度研修生	1:同一市町村 2:道内 3:道外	就業にあたり出身市町村に戻られた方 1:Uターン	下表から選択
例1	22	1	2	2	1	105	33		42	2	1	2	1	2	1	8
例2	45	2	1	1	20			240		1	2					
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																

素材就労生産日数の合計 **0**

※素材生産の年間林業就労日数の合計は、調査票〔問3〕の年間就労日数(g+d)と一致するように記入してください。

← 臨時雇用者は記入不要 →

⑯職歴の選択肢

- 1: 新卒(林業関係高校)
- 2: 新卒(林業関係短大・専門学校)
- 3: 新卒(林業関係大学)
- 4: 新卒(林業関係以外の学校)
- 5: ほかの林業事業体
- 6: 農水産業(現業系雇用)
- 7: 農林漁家(自営)
- 8: 会社員、公務員
- 9: 土木業、建設業
- 10: 製造業、運輸業、卸売・小売業
- 11: その他の業種
- 12: 家事、パート、フリーター

別紙 個別就労状況票

事業体ID 名称又は会社名等

令和5年度の1年間に林業の現場作業に従事したすべての方について記入してください。①、⑤、⑩の調査時点は、令和6年3月31日です。
 事業主(一人親方も含む)も現場作業に従事した場合は、事業主も含めて記入してください。
 ※年度内に同じ従事者を複数回雇用した場合は、対象の従事者を1名として記載してください。

定期雇用者は、雇用保険の被保険者期間が通算して6か月以上1年未満の雇用の者です。

調査年度に新規採用された方で林業経験がない場合は、林業経験年数「1」と記入してください。

複数の事業に従事している場合は、概ねで結構ですので、該当する事業の就労日数を記入してください。日数がゼロの場合は空白としてください。

定期雇用者で、調査時点では離職しているが、令和6年度も引き続き雇用する予定の場合は、「1:就業中」としてください。

定期雇用者で、前年度に引き続き雇用された人は、令和5年度の新規採用者を含みません。同業他社からの就業者は含みます。

No.	① 性別	② 年齢	③ 雇用形態	④ 賃金形態	⑤ 林業経験年数	⑥ 左のうち林業に就労した日数(0日の場合は記載不要)				⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	⑯ 職歴				
						⑦ 素材生産 (日数を記入)	⑦ 造林 (日数を記入)	⑦ 育苗 (日数を記入)	⑦ その他 就労日数 (日数を記入)						
例1	1:男	22	1:通年雇用	1:月給制・日給月給制	1	105	33		42	1	2	1	2	1	8
例2	2:女	45	2:定期雇用	3:出来高併用	20			240		2					
1															
2						105									
3															
4															
5															

①～⑨は、林業の現場作業に従事した全員についてご記入ください。

素材生産の年間林業就労日数の合計は、調査票〔問3〕の年間就労日数(c+d)と一致するように記入してください。

⑩から⑯の欄は、臨時雇用者は記入不要です。
 ・⑩、⑪は通年及び定期雇用者についてご記入ください。
 ・⑫から⑯は、通年及び定期雇用者のうち、令和5年度に新規に採用した方についてご記入ください。

「左のうち令和5年度の新規採用者の欄」は、定期雇用者で、前年度に引き続き雇用された人は、令和5年度の新規採用者を含みません。

← 臨時雇用者は記入不要 →

〔問3〕令和3年度に実施した事業にチェックし、その事業量及び労働者の1労働者の1日あたりの労働量

区分	実務事業(実施した事業にV)		事業量				労働者の1日あたりの労働量	
	生産量	主役(人)	主役人工数	補助人工数	面積	材積	通年雇用	臨時雇用
素材生産	m	m	70人	35人	ha	m ³	円	円
造林(植付、下刈、その他)		植付			ha		円	円
育苗(山行苗木)		下刈			ha		円	円
		その他(除伐等)			ha		円	円
		苗木生産			万本		円	円
		うちコンテナ苗			万本		円	円

⑯職歴の選択肢

- 1: 新卒(林業関係高校)
- 2: 新卒(林業関係短大・専門学校)
- 3: 新卒(林業関係大学)
- 4: 新卒(林業関係以外の学校)
- 5: ほかの林業事業体
- 6: 農水産業(現業系雇用)
- 7: 農林漁家(自営)
- 8: 会社員、公務員
- 9: 土木業、建設業
- 10: 製造業、運輸業、卸売・小売業
- 11: その他の業種
- 12: 家事、パート、フリーター

本調査で使用している主な用語の解説ですので参考としてください。

経営形態

【会社】

会社法に基づく株式会社（有限会社含む）、合名会社、合資会社、合同会社等

【協同組合等】

- ・ 中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合、協同組合連合会、企業組合等
- ・ 民法に基づく社団法人及び財団法人

【森林組合】

森林組合法に基づく森林組合

【個人事業主】

法人格を持たない事業者（一人親方を含む）

雇用形態

【通年雇用者】

年間を通じて雇用される者

【定期雇用者】

雇用保険の短期雇用特例被保険者（季節的に雇用される者または短期の雇用に就くことを常態とする者で、40日分の特例一時金を受給した者）で、一般的には季節労働者という

【常用労働者】

通年雇用者及び定期雇用者の総称

【臨時雇用】

通年、定期以外で一時的に雇用された者

賃金形態

【月給制】

月を単位として賃金が定められているもの

【日給制】

1日を単位として賃金が定められているもの

【出来高給制】

出来高に応じて支払われるもの

【日給出来高給併用】

日給と出来高の併用

【月給出来高給併用】

月給と出来高の併用

その他

【新規就業者】

就業する前の職業の如何にかかわらず貴社が新たに雇用した者（定期雇用者を新規に雇用した年度は新規就業者にカウントしますが、雇用年度の翌年以降は、契約を更新しても新規就業者とはなりません）

【緑の研修生】

国が実施している「緑の雇用」現場技能者育成対策事業（平成22年度以前は「緑の雇用担い手対策事業」）の研修生

林業労働実態調査報告書
(令和5年度実績)

編集 北海道水産林務部林務局林業木材課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

T E L 011-206-6579

F A X 011-232-1294